

第4回金ヶ崎町地域公共交通会議会議録

○日 時：令和2年1月28日（火）13：30～15：00

○場 所：金ヶ崎町役場 大会議室

○出席者数（地域公共交通会議委員）：25名のうち17名出席

出席者については、別紙出席者名簿を参照。

○委嘱状交付

商工観光課長より、会議に先立ち、公共交通会議の第4号委員に変更が生じたため、新たに委員となる方の名称を読み上げ、会長である小野寺副町長より委嘱状を交付した。

○公共交通会議内容

1. 開 会：

- ・進行：高橋課長
- ・第4回金ヶ崎町地域公共交通会議の開会を宣言。
- ・本日の出席委員について別紙の出席者名簿のとおりである旨を説明。

2. 挨拶：

- ・会長である小野寺副町長より挨拶
（省略）
- ・商工観光課長より以降の進行について、会長である小野寺副町長に依頼。
- ・会長が以後の進行について務めさせていただく旨を説明。

3. 報 告

- ・以降、会長の小野寺副町長が進行
次第3の報告について
（1）金ヶ崎町地域公共交通網検討分科会の開催結果について
- ・事務局が資料1に基づき分科会の検討内容及び委員からの意見等について説明
- ・説明終了後に質疑を求めた結果、質疑無し
- ・質疑無し。

4. 協 議

- ・次第4の協議について
- ・協議（1）金ヶ崎町地域公共交通網形成計画（案）について
- ・事務局が資料2に基づき説明
- ・説明終了議に質疑を求めた結果、以下のとおり質疑等有り

質疑者・回答者	内 容
【質問】 質問者A	色々変更になったということですが、85ページの上のところに路線バスのことを書いていただいております。先ほど、担当から説明がありましたが、路線バス事業者としては、この通りだということで説明したいと思います。 85ページの上から2行目、『特にも路線バスについては、利用者が減少傾向にあり、国庫補助要件割れをするなど危機的な状況にあることやバスの運転手確保が困難になってきているため、町内の運行経路の見直しや運行便数

	<p>の減などについて検討が必要になります。』こう書いています。今の状況は、この通りであり、便数なども本当に今のままで運行できるか心配されているところです。以前にもお話しましたが、国と県からの補助金をいただいて運行をしています。それが確実に切れる。その中で先ほどの分科会でも必要だというような意見が出されましたよということでしたので、必要だということであればやはり、国からの補助に代わるものが何かしらあることによって、運行継続が可能になるというように思います。</p> <p>もう一点。細かいところになりますが、102 ページ運転手不足の育成に関する取組ということで書いていただいております。②の下のところ、具体的にはどんな形があるのかなというところで質問させていただきます。『本町は公共交通事業者が～』ときて最後、『運行者の養成支援(大型2種免許の取得支援)等の支援を行います。』この支援というのがどんなものが想定されるのか。確実な話でなくても良いですが。</p> <p>この文章から見ると、(例：町の情報発信～括弧から始まる文章の括弧閉じがどこか分からないのでそこも含めて聞きたいところです。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>102 ページのご質問にお答えいたします。括弧閉じにつきましては、「活用した周知」の後に括弧閉じが入ります。もう一つ、どういった支援内容があるのかというところで、当町の方でもバス事業者だけではなく、タクシー事業者も運転手不足、高齢化、担い手不足というのは存じ上げております。その中で、具体的にどのような支援が良いのかというのは今後、事業者からヒアリングした内容を踏まえながら、単純に町が補助すると言っても、実態に合わない支援をしてもバスやタクシーの運転手が集まらないというのには変わりはないので、そこはきちんとヒアリングをさせていただきながら、どのような支援が良いのかというのは検討していきたいと思っております。</p> <p>想定できる部分としましては、2種免許を取る際の費用の支援が良いのかというのもあるかと思うので、その辺はヒアリング等をさせていただきながら最終的には決めたいと思っております。</p>
<p>【確認】 会長</p>	<p>路線バスの関係で、実際に国庫補助の要件が切れた路線があるのかどうか確認したい。国庫補助要件が切れた時に、どういう支援があったのかというのはあるのでしょうか。</p>
<p>【回答】 質問者A</p>	<p>国庫補助が切れるというか、切れますよというのは何年も前からあって、それを、その後コミュニティバスなどに切り替わったり、コミュニティになった時に市町村が受けるタクシーなり、バス事業者なりに補助が出るというようなやり方等があります。あと、国のフィダー補助という補助ルールがあるので、それを使って補助を受けるという事もあります。</p>
<p>【質問】 質問者B</p>	<p>考え方として今説明がありましたけれど、頑張る分という目標も入っていますが毎年 PDCA をやるということですが、これをもっと具体的に展開して行って、1年後にまたデータを集めて現状はどうなんだろうということを繰り返していくということなのかもしれませんが、それは実際にはどこでやられるですか。</p>

<p>【回答】 事務局</p>	<p>PDCAについては、公共交通会議の中で進捗等どのような結果になっているかということをご報告させていただきたいと思います。</p> <p>毎年アンケート調査を必ず行うものではございませんので、毎年PDCAサイクルで確認していく項目と、全体で最終的なアンケート調査をもう一度実施し、結果を見比べるという部分に分かれます。</p> <p>公共交通会議の中で報告させていただきまして、どのような状況になってるかというのを説明しながら対策というのを検討していきたいと思っています。</p>
<p>【質問】 質問者C</p>	<p>今の質問に関連です。指標のPDCAは何かしら数字が達成しなければ施策を具体的に打っていくという話だと思うが、逆に91ページの下から2番目、公共交通の持続的な運行ということで、『育成した運転者数ー計画期間中に毎年1人以上が育成されることを目指す』とあるが実施するのはどなたですか。事業者がやるんですか。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>質問がありました91ページの指標、育成した運転手の数というところで、関連するページと致しまして92ページになりますが、その中の(2)、住民が安心して～というところがありまして、5)のところでは運転手の確保・育成に関する取り組みの実施というところで検討実施というところと、右側に実施主体とありますが、もちろん行政も行いますが合わせて交通事業者と各種団体が連携をしながら進めて行くというものになっております。</p> <p>具体的な事業としては、102ページになりますが、先ほど質問があった通り具体的にどういった支援をしていくかどうかというのは決めておりませんが、運転手の確保・育成に関する取り組みについて行政側はどちらかというところと後方支援という様な形で支援をしていきたいと考えております。</p>
<p>【質問】 質問者C</p>	<p>そうしますと、タクシーの資源数というのも現状維持というのとはどちらかと言えばタクシー事業者が頑張って、それを町が支援する。それが仮に減ったりすれば、どうするのと言った時には、指標ですから下がった時にどうするというのは直接ある話ならば目安になるんでしょうけど、そうじゃないとあまりこうなりましたということにしかないのかなと思ってお聞きしています。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>先ほども説明させていただきましたが、運転手の確保というのは重要な課題となっております。非常に簡単に解決できない問題となっておりますので、町としても対策をしないままということではできないと考えています。実際に、事業者と協議をさせていただきながらその課題に向けて実際に取り組んでいくというところです。</p> <p>確かに、育成した運転手というのが正しい数値化と言われると、中々指標の決定としては難しい部分もありますが、いずれ1人でも多くそういった部分で運転手の方を育成等に行政としても携わっていききたいというところで記載させていただいたものです。</p>
<p>【質問】 質問者C</p>	<p>そもそものところでこの計画なんですけど、今、何か町民の方々が交通で困ってるとかいう前提とか、それが今後人口の推移だとか書いてあるんですけど、</p>

	<p>どういふようになっていく予想で将来こういふところが手薄になるとかいうのがどこかに書いてあるんですか。</p> <p>それをずっと見ていたが、それがないと逆にどうやっていくかというか、どうあるべきかとかいう話しも、本当にそれが必要なのかどうかというのでも相対的に手を打てるなら良いですが、将来の金ヶ崎町の住民の方々がかうあれば便利だなとかいふ目指す姿的な最低限のイメージ、全部思い通りに行くよなものを提供できるよなことではないと思うんですけど、最低限病院に掛かるとか買い物に行ける状態の足は確保するんだとかいふあたりの目標があつて、それに対してどういふ手を打つていく予定だと。そうした時に路線バスが必要なのであれば業者だけでは中々確保できないのであれば、運転手の確保にも支援をしていくといふのであれば分かるんですけど、そもそも、何が将来提起に必要なのかといふ部分が私の見た限り見れなかつたです。そこを教えていただければと思います。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>これまでの会議の経過もありますので、全て説明するといふのは難しいですが、町だけに限つたことではありませんが、人口減少・少子高齢化・自家用車の普及などといふことで公共交通の取り巻く環境が著しく変化しているといふのは皆さんある程度お分かりかと思ひます。その中で、実際に町内の田園バスの利用者も減つておりますし、先ほど県交通からも非常に厳しいといふお話がある通り、利用者は減つてきております。その中で当町の公共交通に掛かっている経費といふのは年々増加しており、今後町の財政も厳しくなつてくるといふのも踏まえながら効率的で、住民の方の移動の足といふのを維持していくといふのが目的となっております。</p> <p>その中で、着目させていただいたのが、スクールバスと田園バスになります。現在、その2つの移動手段は、同じ時間帯に同じよな路線を走つています。片方で乗っているスクールバスもありますが、田園バスが中々乗っていないといふ状況もありながら、そういった部分も踏まえながらこれまで検討させていただいております。</p> <p>一方、住民のアンケート結果等を踏まえますと、利用実態としてはやはり買い物・通院といふところで利用頻度が大きくなつていますし、その中の課題を見ますと午前中の買い物であつたり、通院といふのが利用実態とあつてなかつたので、そういった部分を今回なるべく利用実態に合わせた運行を行つていくといふ様な形で進めてきました。</p> <p>最終的な計画を見て、分かりづらいつたといふのがあるかと思ひますが、説明が足りない部分もあるかと思ひますがそういうことで今進めてきております。</p>
<p>【意見】 質問者C</p>	<p>実態が見えないわけでもないのですが、はまつてる感があまり見えなくて、計画はきれいだなと思つて私も見ていたんですけども、どこが困つて来るのかといふのが見えにくいかなと思ひます。</p> <p>あとは先ほども言つた指標といふのが、何かしら努力するのと連動したも</p>

	<p>のでないと、ただ数字の動かしかだけで、実際は手を掛けられないような話をしていればこの計画は何だろうなという事になると思うので、これから精査はあると思うのでもう少し意識して、つまり評価されるというのを前提に指標を確定していただければと思います。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>はい分かりました。ありがとうございます。</p>
<p>【意見】 質問者D</p>	<p>金ケ崎町は住むところやその家庭環境によってバスを多く利用する方、全く利用しない方が大きく分かれる町だと思います。それで 106 ページの“愛着の持てる公共交通創出”のところですが、この部分は町民のどのような方でも関わられる問題ではないかなと思います。この具体内容の他の町の案とか他の町に比べると、アイデアが乏しい、アイデアを出すのが苦手な町なのかなと思いますので、町内行事としてはバスを出してもらったりして助かるのですが、多世代交流の仕掛けづくりとしては、車両の有効活用する部分にも力を入れていくのが必要なのではないかなと思います。幼稚園のバスとか小・中学校のスクールバスに乗ってる子供達は関わりがありますが、それ以外の子供でも北上水沢に行く場合、バス停がどこにあるのか知らない子供も沢山いますので、そういう部分においてもこの仕掛けづくりについての検討とか、金ケ崎町に力を入れてもらいたいし、私たち町民も案を出せるようになりましてらお手伝いしたいなと思っております。</p>
<p>【意見】 質問者E</p>	<p>私の方から 2～3 点意見と言いますか発言をさせていただきます。</p> <p>まず 82 ページです。役割ということで書いてあります。一番下の町民・利用者等の役割というところで、何より公共交通の主体というのは町民利用者だと思います。この場での各方面の方が一堂に会して検討を行い、町が作って。実際に使うのは町民、利用者の方です。</p> <p>それから 3 行目、公共交通の利用促進についての意識醸成という事で書いてありますが、取組のどこが当てはまるのかなというところで、今、他の委員から意見がありましたが 106 ページの愛着が持てる公共交通の創出かなと思います。この主体が町民であると、それから意識の醸成というところで各取組みの実施スタイルに町民・利用者等と書いてありますが、具体性が乏しいのかなと思います。人口が減って行って利用者も減っていくという数字が出てますけども、混乗だったり運行経路の今後の取組にありますけども、運行経路が合わなくて、時間帯が合わなくて利用できないという方もいると思うので、公共交通利用者の掘り起こしという観点で、例えば小・中学生を対象にバス・タクシー・鉄道の乗り方教室をやってみるとか、それから自治体によっては高齢者の乗り方教室をやってみる。高齢者についても、歩けなくなってきたからの歩き方教室はないので、まだ元気なうちに乗り方教室をやってもらおうと。</p> <p>それから先ほど委員の方から意見がありましたが、地域の意見吸い上げとかいうかやりとりがどこに書いてあるのかなと探したんですけど、色んな取組</p>

	<p>計画がありますが、実際に地域住民の方がどのようなことで悩んでいらっしゃるのか、これまでアンケートや調査をやってやるわけですけど、例えば地域の方に何かの機会に役場まで来てもらって意見交換をすとか、もしくは町の職員の方が地域とか機関団体の方に出向いて対面で意見交換をすとか。今後パブリックコメントとかありますけども、ある意味形式ばっているような内容で限られた数値しかコメントがないのかなと思いますけども、実際に対面でざっくばらんに話をすれば、色んな意見が出ると思います。これまでの調査以外の様々な意見も出ると思いますので、地域の意見・説明会を是非取り組んでいただければと思います。その取組も、前期・中期・後期中で検討・実施という書き方も良いんですが、具体的に1年間に何か所やるとか、単年で何か所と書けないのであれば、2～3年の複数年で何回やるという様なことで、具体的な目標値を設定したら良いのかなと思います。</p> <p>それから各取組が書いてありますが、先ほどの運転手の確保を支援しますということはどういった支援をするんですか？という質問がありましたが、それぞれの取組を見ますと、キャッチフレーズと言いますか方針のような書き方になってるのかなというように思います。具体的にどういった取組をするのかなというのが見えないです。90 ページと 91 ページに目標・指標と目標値が載ってますが、取組のどの部分がこの指標・目標値に当てはまるのか。運転手の確保とかというのがありますが、図形でもいいんですが、再掲という形でそれぞれの取組との目標、指標と目標値が当てはまるのか併記すれば分かりやすいのかなと思います。</p> <p>それから毎年モニタリングを実施されるということで、そのモニタリングの結果は協議会の場で説明します。結果報告しますということになりますが、毎年モニタリングをやって、先ほどの 90 ページ 91 ページの指標に当てはまるのかどうか。目標値の方は最終目標値という書き方だと思うのですが、毎年モニタリングをやっていて、モニタリングの単年度の目標値がなければ今年のモニタリングの結果はこうでした。で終わってしまうので、もうちょっと踏み込んで継続というか取組みの方向性があっても良いのかなというように思います。</p> <p>尚、詳細については後ほど 2 月 14 日までの意見書の方で出させていただきます。意見でした、以上です。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>ご意見ということでしたけれども、お答えできる部分もありますので回答します。乗り方教室等の意識の醸成の部分についてお話がありましたが、106 ページの愛着の持てる公共交通創出という取組がありますが、104 ページの方に公共交通の利用 PR というところでモビリティマネジメントの実施というところで、生徒や高齢者というところの乗り方教室や講座等の開催というのは記載をさせていただいております。</p> <p>地域住民の皆様の意見の吸い上げをもう少し実施した方が良いのではないかとこのところでお話がありましたが、1年間の計画策定というスケジュール</p>

	<p>ルの中で、アンケート調査結果というところでの意見の吸い上げの他に 66 ページにございますけども、町内の民生委員・児童委員の皆様から具体的な住民グループインタビューをさせていただいたり、その際に聞き取れなかったという部分もありますので、簡易アンケートを実施して生の声を聞かせていただきました。計画策定にあたりましては、実際にお話しを聞く時間もありましたが、今後も情勢がどんどん変化していくということもありますので、町民の皆様の声聞く機会も設けていきたいと思っております。</p> <p>各数値の指標につきましては、どの指標がどの事業に当てはまるのかというのは、計画を今後見直ししながら分かりやすい作成していきたいと思えます。いずれ事業と目標値を分かりやすく表記したいと思えます。</p> <p>ご意見いただいたところに対応できる部分について、対応していきたいと思えますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>【補足】 事務局</p>	<p>先ほど委員から運転手不足の対応を町ではどのようなことをするのかというところで、あくまでの他地域の事例ではあります、色々な先進地事例だったり実証実験をしていたりします。特定の件においては、県と県バス協会が連携しながら運転手の確保に向けた具体的なお金の面での支援という事で、2種免許だったかと思うのですが、その支援について出しているというのがあります。基本的に運転手さんの確保と言われるのをその市町村の中でやっていくというのは非常に限定的というか限界があるというように思われてる部分もあるかと思えますが、先ほどお金が支援というお話もありましたが、また一方で総合政策のとりわけ空き家対策のところと連動させるようなことを考えているところもあります。要は、自分の町のところに運転手が住んでくれたら、その対応として空き家を非常に低価格で提供します。これもまち・ひと・しごととも関係してくるものなので総合政策と思ひまして、お金がない中でもその空いてるものを使っただくという部分では1つ事例として参考であるのかなと思っております。</p>

- ・質疑・応答終了
- ・会長より協議（1）の金ヶ崎町地域公共交通網形成計画（案）について、意見がある場合は意見書に記載して2月28日までに提出を依頼。
- ・計画（案）については、概ねこのような内容で進めるということで、異議なしとして承認としてよろしいか確認を行った。
- ・出席委員より異議なし。
- ・協議事項（1）について承認された。

- ・協議（2）パブリックコメントの実施（案）について
- ・事務局より資料3に基づき、令和2年2月7日（金）～令和2年2月28日（金）までの期間、町のホームページに掲載及び主要施設で閲覧できるような形で金ヶ崎町地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメントを実施する旨を説明
- ・説明終了に質疑を求めた結果、以下のとおり質疑有り

質疑者・回答者	内 容
<p>【質問】 質問者 F</p>	<p>資料3の4の公表方法について、閲覧する場所9か所とあります。その他町民に周知する手段として有効な方法と記載がありますが、この有効な方法を具体的に知りたいです。また、閲覧可能な場所に置いていても、あと町のホームページに掲載していても、駅にパブリックコメントを募集してますとあっても駅を利用していない人は見ませんし、子育て世代の親がわざわざホームページを見たり、閲覧できる場所に見に行くということをするのは中々難しいのではないかと思います。</p> <p>町民に周知する手段としてよくやっているのが各地区センターにおける地区懇談会のようなものが開催されれば良いと思います。しかし、そこに行くのはいつも限られた年代の人しか行ってないという現状があります。</p> <p>委員になったので、この資料を団体として認められるならば、親子サークルがあるので、地区の親子サークルでもしよければ委員に説明しに来ていただいてパブリックコメントをお母さんたちとかお父さんたちから聞くという方法もあるのではないかなと思います。これは提案です。</p> <p>思ってることを伝える方法としてパブリックコメントがあるのに、そこに参加できない人もいる現実があるので、そういう人の気持ちも吸い上げて欲しいと思いますし、委員の人たちも汲み上げたいと思ってるならば、ここの周知の手段をもう少し具体的に考えて欲しいなと思います。</p>
<p>【回答】 事務局</p>	<p>貴重な意見大変ありがとうございます。今回、町民懇談会の部分につきましては残念ながらタイミングが悪く、期間中には開かれないということですが、担当から公表方法としてホームページ等に掲載したり、あとは町内の主要施設での閲覧という様なことで説明を致しました。今、委員からそれ以外にも有効手段はありますよねということでご意見いただきましたが、実際問題非常に厳しくて、今回公共交通会議で結構皆様、委員の方にお入りいただいているというのは、例えば自治会長連絡協議会で委員の方に入っているという部分もごございます。PTA 協議会は欠席ですけども、そこはそこで機関会議があると思いますのでその中でもぜひご議論いただいて、そしてご意見を寄せていただきたいと思います。あとその具体的な提案ごございますが、その部分につきましては検討をさせていただければと思います。</p>

- ・ 質疑・応答終了後
- ・ 会長より協議（2）パブリックコメントの実施（案）について、異議なしとして承認してよろしいか確認。
- ・ 出席委員より異議なし。
- ・ 協議事項（2）について承認された。

5. その他

- ・ 次第5のその他について出席委員より発言があるか確認。
- ・ 出席委員より発言なし。
- ・ 事務局より次回の会議の開催予定が、3月6日（金）午後1時30分である旨を説明し、改めて案内を送付することを説明した。
- ・ 議事について全て終了したことから進行を事務局へ依頼。

6. 閉会

- ・ 商工観光課長が第4回金ヶ崎町地域公共交通会議の閉会を宣言。